

FIELD

'15/11

第137号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

 \Box TEL 028(677)5033

☐ http://www.hokoren.com

☐ E—Mail: information@hokoren.com

□編集責任者 七井 真人

■ 第2回役員会を開催

10月7日 芳工連第2回役員会を開催しました。小川会長は、「栃木県及び茨城県で9月9日から10日にかけて50年来の大雨が降り、常総市では鬼怒川の氾濫で大きな被害が発生した。アメリカ東海岸でも1000年に一度の大豪雨が発生し、経済に深刻な影響をもたらすことが心配されている。中国でも化学物資と言われる爆発事故があった。

我が社では、大雨・洪水に対する危機管理の 脆弱さが見受けられた。地震は経験して対応が



出来ているが、大規模災害等に備えたシミュレーション訓練を12月までに実施することにした。 結果が出たら皆様と情報を共有したい。」と挨拶しました。議事の概要は次のようなものです。

- 1 新規加入申出のあった、とちぎコープ生活協同組合様並びに株式会社今仙電機製作所様の芳工 連加入を決定しました。
- 2 県県土整備部長並びに関係土木事務所長に対し、道路整備事業促進4路線及び LRT 軌敷設工事 に伴う交通渋滞回避に関する陳情書の提出を決定しました。
- 3 栃木県産業労働観光部長との意見交換会を11月6日(金)午後2時30分から管理センターで開催しますが、県へ提出する質問・要望については、交差点信号機の時間調整による交通渋滞対策など4件を決定しました。
- 4 芳賀町商工会と芳工連との交流会開催については、11月24日(火)午後3時30分から道の駅はがにおいて開催することを決定しました。内容は見目匡町長による(仮題)「今後のまちづくりについて」と題する講演です。懇親会は午後5時から芳賀温泉ロマンの湯で開催することを決定しました。
- 5 LRT 事業説明会の開催については、代表役員による協議で開催日時を12月11日(金)午後1時30分から管理センターにおいて開催することを決定しました。
- 6 賀詞交歓会の開催については、例年どおり開催することを決定し、詳細は総務企画部会に一任されました。なお、代表役員による協議で開催日時は平成28年1月15日(金)午後5時からホテル東日本宇都宮で開催することを決定しました。
- 7 その他、次の3件についてご報告しました。
 - (1) 各部会の活動実績と事業計画、(2) 第3回役員会を12月11日(金)午後3時30分から開催、(3) 芳賀町民祭は11月8日(日) 芳賀町役場駐車場において開催

■ 県県土整備部長へ陳情

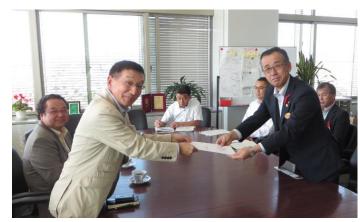
10月14日 芳工連小川会長、西東交通防犯部会長、事務局長七井が栃木県庁へ県県土整備部長を訪問し、部長室において印南部長ほか江連次長、黒岩道路整備課長、齋藤宇都宮土木事務所長、中田真岡土木事務所長、狐塚矢板土木事務所長の同席をいただき陳情書を提出しました。

小川会長は、「今年4月から芳賀工業団地へ通勤する人数が増えている。宇都宮駅東から芳賀工

業団地まで13kmあるが70分の時間を要した。 5月から時差通勤等の渋滞対策を実施したこと や関係土木事務所と警察署のご協力による車線 変更、交通信号機時間調整が功を奏して、鬼怒川 左岸は渋滞緩和の効果が出ている。

しかし、鬼怒川右岸は依然として交通渋滞が深刻であり、今後 LRT 事業との関係もあって厳しい状況を懸念している。」と挨拶しました。

陳情5件の項目及び県担当者からの説明は次のようなものでした。



1 主要地方道宇都宮・向田線の大塚地区道路改良の促進に関する陳情について、県から次のよう な説明がありました。

【大塚地区は真岡土木事務所管内としても最優先工事区と考えているので、今年度補正予算と 次年度予算の増額で早期完了を目指したい。】

2 県道上高根沢・氏家線の廻り谷地区の道路新設(バイバス)の促進について、県から次のような説明がありました。

【国の交付金を投入し用地調査を完了した。今年度から用地取得をするので、地元説明を丁寧 に行いスムーズに着手できるよう準備している。】

- 3 宇都宮テクノ街道の国道4号線までの延伸(接続)の促進について、県から次のような説明がありました。
 - 【5.6kmは供用開始できているが未着工が600mある。農地が分断されることから昨年度まで地元の理解が難しく測量立入もできなかったが、今年度は地元の理解も進んでいるので取得交渉を進める。】
- 4 国道 408 号線に係る国道 123 号線及び鬼怒通り(県道 64 号線)交差点の立体化要望について、 県から次のような説明がありました。

【今後は高根沢バイパスの工事を着手する。ご要望の立体化は計画にあるがバイパスの全体工事を優先した上で、交通量を見極め立体化工事の進捗を検討する。

ただし、国道 123 号線交差点に右折レーンを設置する交差点改築を今年度中に施工し交通渋滞の解消を図りたい。また、平成28年度には宇都宮テクノ街道に接続(旧道を一部経由)させる計画である。】

5 次世代型路面電車(LRT)事業の軌道敷設工事に伴う交通渋滞回避の指導要望について、県 交通政策課長からの説明は次のとおりです。

【事業主体では、交通渋滞を回避するため交通解析による交通環境のシミュレーション結果を 基に、交差点拡幅などの検討を実施している。事前の検討に栃木県としても加わっている。

軌道敷設工事段階で交通渋滞が発生しないよう、朝夕の通勤時間帯に工事をしない工夫も求められる。交通渋滞を回避するよう検討しているが即地的な対応も必要になると思っている。】

■ 総務企画部会

(1) 第2回部会を開催

10月23日 第2回総務企画部会を13社13名の参加により開催し、下半期に計画している事業内容について検討しました。

12月4日(金)に実施する芳工連全体研修会は横浜市内の企業視察とすることを決定しました。早々に会員企業様へご案内の通知を発送し参加募集しますので、是非ご参加くださるようお願いいたします。

1月15日(金)午後5時からホテル東日本宇都宮において賀詞交歓会を開催することも決定

しました。改めてご案内しますので会員企業様にはご参加をお願いいたします。

2月中旬に第34回ボウリング大会を開催することを決定し、70名を募集定員として会員企業様へご案内しますので、人数の多少にかかわらず、お申し込みください。

その他、芳工連が予定している事業計画についてご説明しました。



(2) 若手研修会を開催

10月14日 総務企画部会が主催する若手研修会を開催したところ10社15名の参加がありました。入社3年から5年の社員を対象としたブラッシュアップ研修です。

厳しく熱意ある講師のご指導の下、CS 概念、 ビジネストークのテクニック、納得させる説得術 などを一日しっかりと受講いただきました。

受講者アンケートには、「会社の看板を背負う存在として無責任な行動を執らないようする。」、「性格分析で学んだ相手の個性を受入れ、対応を



明日から実践したい。」などと記述されていました。責任をもった対応や相手への思いやりを大切 にして、研修成果をいかんなく仕事で発揮できるよう期待したいと思います。

■ 安全衛生部会

10月23日 第2回安全衛生部会を開催したところ11社11名の参加がありました。

協議事項は下半期に計画している事業内容の検討です。

11月13日(金) 9時から開催する危険予知訓練研修会の準備についても確認しました。



12月16日(水)10時から開催する安全活動事例発表会は株式会社関電工様に発表をお願いし、安全衛生に係る講演を真岡労働基準監督署長にお願いしました。

また、優良企業視察研修会を2月に実施することを決定しました。

■ 環境整備部会

10月22日午前9時30分から第3回クリーン作戦を工業団地内5ブロックに分れ実施しました。

冷気を感じる高く澄みきった秋空のもと、53 社162名の皆さまが道路や歩道・側溝・緑地帯 のゴミや落葉などを拾い集めました。

毎回、熱心に活動していただいておりますが、 落葉が多くなるこの時期は、特に、側溝に堆積し た落葉を丁寧に取り除き、大雨による道路冠水な どの被害が発生しないよう念入りに清掃していた だきました。



参加された皆様、ご協力いただきました企業様にお礼を申上げます。

■ 交通防犯部会

安全運転講習会を開催

10月21日 安全運転講習会を開催したところ14社34名が受講しました。

講習会に先立ち西東交通防犯部会長が、「安全は待ったなしのエンドレス」と題し、次のような内容で挨拶しました。

「日本は交通安全先進国と思われているが、自 動車走行距離を分母とする交通事故件数では諸外 国と比較して優秀でない。

内閣府は、平成23年3月に5ヶ年間の交通安



全基本計画を策定し、平成27年までに年間の死者数を3,000人以下、死傷者数は70万人以下を目指した。交通事故死者数は15年連続で減少をたどっているが、平成26年中の死傷者数は4,113人であり目標の達成はできない。死傷者数は平成26年中に71万人を超えている。

また、内閣府は交通事故によって平成21年は6.33兆円超の経済的損失があったと調査結果を公表している。

芳工連では、警察署、県県土整備部への陳情を継続し、工業団地全体の安全・安心の実現を訴えている。先日も宇都宮東警察署への陳情で、板戸大橋右岸の交差点信号機の時間調整をしていただき、現在は渋滞が緩和されスムーズに通行でき好評である。

また、道場宿交差点の信号機調整も実施していただき、以前よりも渋滞が緩和されてきた。地道な活動であるが確実に交通安全、交通渋滞対策の成果が出ている。」

安全運転講習会は、危険予測能力の向上による事故防止を目的に、ツインリンクもてぎ所属インストラクターに指導いただく動画版 KYT の研修です。

講師から、横断歩道用信号機の上は赤か、青か? との質問がありました。しかし、即答できる人は多 くありませんでした。

目的をもって物を見ていないと意識に残らない、 事例と言えます。交差点の安全確認も同じで、漠然 と見ていると意識に残らないことが分かります。



動画版 KYT の内容は、自分が公道を運転しているつもりで、交差点、対応車線、歩道などに潜む危険を意識した時、瞬時に手元のボタンを押し、記録されたデータを受講者すべての危険判断記録と比較しながら、危険が潜むシーンを追体験する仕組みです。

漠然とした運転ですと危険は予測できません。危険に対する感受性は個人差があり、危険を知ることで運転行動が変わってきます。

運転中のあらゆるシーンに危険が潜んでいるので、スピードを控え、子どもや高齢者の行動に注意し、交差点の通過、見通しの悪い場所など見えない場所の危険を予測し、慎重な運転を心掛けてほしいものです。

参加した皆さまは、熱心に受講して交通に関する危険予知能力を高めることができたようです。

■ とちぎの道現場検証を実施

10月1日 芳賀町主催により、工業団地に隣接する道路整備の現場検証がありました。芳工連から小川会長と西東交通防犯部会長が参加し、見目町長、真岡土木事務所所長、地元町議会議員、自治会長とともに検証を行いました。

このような現場検証は芳賀町では初めてのことです。現場検証路線は、高根沢地内の三日市・宮田線、宇都宮向田線(大塚地区)の2路線です。

見目町長は、町内の道路整備に関する課題について行政、自治会などが一同に集い共通認識を深めることは意義がある。道路は文化の向上や地域経済の振興に貢献し地方振興に役立ってきた。緊急時の必要性も認識されている、と挨拶で述べました。

真岡土木事務所中田所長は、道路整備事業は地元、地元要望を集約する町からの要望に沿って対応している。県民の安全・安心を向上し、地方経済の活性化、企業誘致などに結びつくよう選定している。地方創生の原動力である道路整備であることから、利用者と行政が同じ方向で課題を認識





するとともに現地確認することは極めて意義のあることである、と挨拶で述べました。

2路線ともに工業団地の渋滞緩和、LRT事業に係る交通渋滞の代替路線機能、第2工業団地建設に向けたアクセス環境整備等で必要な路線として要望してきたところです。

小川会長は、宇都宮向田線(大塚地内)の完成が5年先ではイメージが難しい。完成すれば宇都宮テクノ街道のポテンシャルを高める効果がある。板戸大橋の利用は第2芳賀工業団地の完成による社員増大にも対応できるものになる、との意見を述べています。



■ 栃木地方産業安全衛生大会に参加

10月6日 栃木労働局及び県内労働基準監督署主唱、各労働災害防止関係団体の主催する栃木地方産業安全衛生大会が宇都宮市文化会館において開催されました。

午前中は、真岡労働基準協会主催による優良事業場見学会が実施され、芳工連会員企業の皆さまとともに栃木市内の GKN ドライブラインジャパン(株)様を視察しました。

GKN ドライブラインジャパン(株)様は従業員4万人を擁し、自動車、粉末冶金、航空宇宙、産業用機械の事業を世界35ヶ国で展開するイギリスに本社を置くグローバル企業で、GKN グループの自動車部門ドライブラインに属する日本法人です。 GKN ドライブラインジャパン(株)紹介ビディオから転写

栃木工場では、約900人の従業員がパワートランスファーユニット、トランスミッション、ドライブシャフトなどの自動車用駆動系部品を製造し、自動車部品サプライヤーとして世界の主要な自動車メーカーに製品を提供しています。

航空機部品製造を手掛け高度な技術力を有する 外国資本の自動車サプライヤーが、自動車用駆動系 部品供給で日本の自動車メーカーを支えている事 例に驚きました。

工場内の部品製造ラインを見学しましたが、古い建物をメンテナンスするご苦労はあるようですが、製造ラインは整理・整頓され、荷下ろし、部品梱包、搬出入などの安全について細部まで工夫されている現場を見学することができました。

栃木地方産業安全衛生大会は、宇都宮市文化会館において開催されました。主催者を代表し一般社団法人栃木県労働基準協会連合会藤沢雅和会長は、「近年の労働災害発生件数は長期的には減少傾





向にある。栃木県内でも全国と同様に減少傾向を示している。8月末現在で死亡者数は前年同期比4名減の9名となっている。休業4日以上の災害は前年同期比3.3%減の35名減で1,030名となっている。労働災害が長期的には減少傾向にあるとはいえ、直近で再び増加した背景として、新たな機械設備や新たな化学物質が導入されるなど、事業場内の危険・有害要因が多様化していることや、これまで現場の安全衛生を支えてきた世代の退職、これまで培ってきた安全衛生のノウハウが確りと継承されないことが考えられる。これらのことに注意して動向を見極めることが必要である。



一方、平成26年度全国の精神障害の労災支給件数は過去最高の497名、脳心臓疾患の決定件数が277名、勤務問題を原因動機とする自殺者が約2,200名など、職場におけるメンタルへルス対策や過重労働による健康障害防止対策は喫緊の課題となりつつある。」と挨拶しました。

第1部の表彰式において、ジェーピーエス製薬(株)栃木工場 部長代理 鎌上章様が栃木県労働基準協会連合会長から労働衛生功労賞を受賞しました。

また、全国THP推進協議会長から(株)本田技術研究所四輪R&Dセンター(西東安全衛生課長)

が優良賞を受賞しました。THP優良賞とは、働く 人の心と体の健康づくり運動において功績のあった 事業場に対する表彰です。

第2部では、「心が折れない自分を創る」と題する メンタルトレーナー高畑好秀氏の特別講演がありま した。高橋好秀氏は、プロ野球選手やオリンピック 選手のメンタルトレーナーとして関与した体験を通 して、選手の行動などを紹介しながら、緊張をほぐ し自分の実力を発揮するために、如何にメンタルコ ントロールが重要であるかお話しされました。

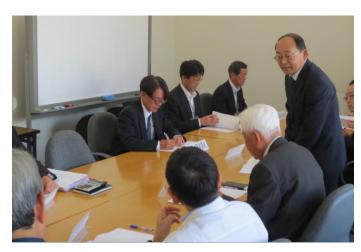


■ 工業団地管理センター管理組合役員会を開催

10月27日 芳工連役員5名と芳賀町職員4名の出席を得て役員会を開催しました。

この組合は、管理センター施設の管理運営及び芳 工連活動助長を目的として、芳工連と芳賀町が連携 して運営する組織です。

組合長の上野哲男副町長は、「町の執行体制が代わり6月15日付けで当組合規約により組合長に就任した。町は第6次振興計画及び地方版総合戦略を策定中であるが、公共交通整備による『便利をつなぐ』を戦略とする。その一環となるLRTの町内3kmの



計画がまとまった。LRT運行で必要なトランジットセンターを管理センター周辺に設置したいので、管理センター施設の機能拡大等について再検討する必要があり、役員の皆様からご意見を頂戴したいと考えている。」と挨拶しました。

議事は、上半期の執行状況、収支補正予算議決、工事及び修繕等の内容、上半期の会議室及び体育館利用状況についてです。上程した議案は全て全員の賛成で議決されました。

なお、町職員の異動にともない、理事に古谷一良 総務企画部長兼総務課長、監事に大関一雄 総 務企画部企画課長のお二人が就任しました。

■ お知らせコーナー

(1) 芳工連全体研修会の参加者募集

横浜市内の企業における接客サービスと食品の品質管理の最先端を研修する企画です。併せて 会員企業様相互の親睦と情報交換を目的としています。

■ 期 日:12月4日(金)

■ 場 所:横浜市内(クルージングレストランシップ、キリンビール横浜工場)

■ 参加費:2,000円

■ 申 込:11月20日(金)締め切り

■ 定 員:40名(申込み数が定員になり次第締め切らせていただきます。)

(2) LRT事業計画説明会のお知らせ

芳工連会員企業様を対象とした次世代型路面電車(LRT)事業計画の説明会を下記のとおり 開催します。

■ 日 時:12月11日(金)午後1時30分■ 場 所: 芳賀町工業団地管理センター大会議室

■ 内 容: 芳賀町都市計画課職員ほか■ 参 加 者: 希望する芳工連会員企業

■ 参加申込:11月20日(金)までに事務局へ連絡

芳工連日誌

【10月の実績】

- 1日 とちぎの道現場検証
- 1日 のぼり旗撤去
- 6日 栃木地方産業安全衛生大会
- 6日 真岡地区暴力団追放決起大会
- 7日 芳工連第2回役員会
- 14日 栃木県県土整備部長陳情
- 14日 若手研修会
- 21日 安全運転(動画 KYT) 講習会
- 22 日 クリーン作戦
- 23日 第2回総務企画部会
- 23日 第2回安全衛生部会
- 27日 管理センター管理組合役員会
- 28 日~30 日 全国産業安全衛生大会
- 28日 資源ごみ回収日

【11月の予定】

- 6日 県産業労働観光部長との意見交換会
- 8日 第34回芳賀町民祭
- 11日 初級管理者セミナー
- 13日 危険予知訓練講習会
- 17日 第2回環境整備部会
- 17日 真岡地区産業安全衛生大会
- 19日 第49回芳賀郡市公衆衛生大会
- 21日 第51回芳工連ゴルフ大会
- 24日 芳賀町商工会との交流会
- 25日 資源ごみ回収日
- 26日 芳賀町民チャリティーゴルフ大会
- 26日~27日 県団管連県外視察研修会